

2022年度

環境経営レポート

対象期間 : 2021年10月1日～2022年9月30日

発行日 : 2022年12月1日



八田建設株式会社

520-1121 滋賀県高島市勝野202番地3



®環境省

エコアクション21

1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

八田建設株式会社
代表取締役社長 八田 庄平

所在地

本社 〒520-1121 滋賀県高島市勝野202-3
 湖南営業所 〒520-0022 滋賀県守山市守山六丁目14-1
 資材倉庫 〒520-1132 滋賀県高島市拜戸字大道端1022-4他

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 総務部課長：万木 昭博
 連絡先： 0740-36-1208
 事務局長 総務部主任：横田 恵子
 連絡先： 0740-36-1208

事業活動の内容（認証・登録範囲）

建設業：土木、建築、大工、とび・土工、石、屋根、タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、
 しゅんせつ、塗装、内装、水道施設、解体

事業内容：建設、リフォーム、1級建築士事務所、宅地建物取引業

事業の規模

売上高 3,613 百万円/2022年
 工事件数 59 件/2022年
 全従業員 48 名

事業組織

面積：㎡	本社	湖南営業所	資材倉庫
事務所床面積	470.4	103.44	-
倉庫床面積	-	-	624.42
本社敷地面積	912.84	-	-
倉庫敷地面積	-	-	1,266.1
従業員 48名	46	2	-
認証・登録	○	○	○

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素の総排出量	kg-CO ₂	159,351	99,111	138,327
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	50.8	34.4	48.0
廃棄物の排出量	t	1,594	834	3,243
水の使用量、排水量	㎡	223	191	142
化学物質の使用量	kg	0	0	0

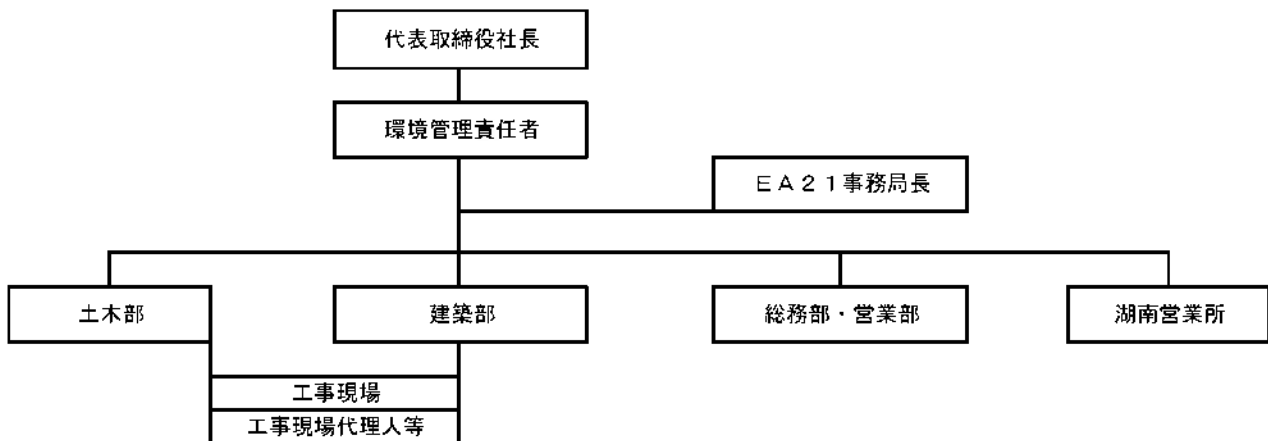
* 事業年度及び環境活動年度は10月1日から翌年9月30日です

* 購入電力の調整後排出係数は、2018年関西電力の0.334kg-CO₂/kWhを3ヶ年間固定する。

* 二酸化炭素の総排出量には、LPG使用に伴う微量の23kg-CO₂排出量を含む。

* 化学物質の取り扱いには極微量につき数値目標には掲げず、適正に管理する。

EA2 1 実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②代表者による経営における課題とチャンスの明確化を図る。
	③環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	④環境管理責任者を任命する。
	⑤環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑥代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑦環境経営レポートの承認・発行許可する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境経営活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境経営活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA2 1に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA2 1事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA2 1 事務局長	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書類（文書及び記録）の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

八田建設株式会社

環境経営方針

当社は、下記に掲げる環境経営方針を定め、全員参加の環境保全活動を推進します。

企業理念

建設業は、社会基盤を担う産業であり、環境問題は業界にとって避けて通れない重要な課題であり、地球の未来を見据え企業活動のあらゆる面で、環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

行動指針

事業活動を展開していく上で、環境に与える影響を考慮して、環境目標を設定し、継続的改善に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 施工で使用する化学物質の適正管理を徹底します。
 - ☆ 環境に配慮した情報化施工を推進します。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2012年10月1日

改訂日：2015年 4月1日

改訂日：2019年10月1日

改訂日：2020年10月1日

代表取締役社長

八田 庄平

3 環境目標とその実績（2021年度）

エコアクション21は、2006年から活動しています。2020年度の実績を基準値として、2021年度から2023年度の環境経営目標を設定し、このレポートでは、2021年10月1日から2022年9月30日までの運用実績を取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	年度 単位	2020年 基準年	2022年 取組年		2023年 （目標）	2024年 （目標）
				（目標）	（実績）		
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減（単位：kWh）	目標・取組年達成率	100%	99%	77.3%	98.5%	98.5%
		使用量	113,804	112,666	87,932	112,097	112,097
		(kg-CO ₂ /t)	38,011	37,630	29,369	37,110	37,110
	ガソリン使用量の削減（単位：L）	目標・取組年達成率	100%	99%	85.6%	98.5%	98.5%
		使用量	28,815	28,557	24,682	28,412	28,412
		(kg-CO ₂ /t)	66,920	66,261	57,263	66,917	66,917
	軽自動車使用量の削減（単位：t）建設現場	目標・取組年達成率	100%	99%	177.8%	98.5%	98.5%
		使用量	10,451	10,346	18,577	10,294	10,294
		(kg-CO ₂ /t)	26,964	26,694	47,928	26,559	26,559
	灯油使用量の削減（単位：t）建設現場	目標・取組年達成率	100%	99%	41.0%	98.5%	98.5%
使用量		3,665	3,628	1,503	3,610	3,610	
	(kg-CO ₂ /t)	9,126	9,035	3,742	8,989	8,989	
二酸化窒素総排出量全国	目標・取組年達成率	100%	99%	98.1%	98.5%	98.5%	
	使用量	141,020	139,610	138,303	138,905	138,905	
二酸化炭素排出量（百万円当り）	目標・取組年達成率	100%	98%	94.7%	97.5%	97.5%	
	使用量	50.8	49.7	48.0	49.5	49.5	
建設現場の廃棄物として、分別を徹底して実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進（単位：%）建設現場	目標・取組年達成率	98%	95%	101.9%	95%	95%
	使用量	98%	95%	97.8%	95%	95%	
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水を努め、水の使用量を削減します。	事業所排水の水の排水（単位：t）	目標・取組年達成率	100%	99.0%	85.7%	98.5%	98.5%
		使用量	223	220.8	191.0	219.7	219.7
	漏水防止の設置と適正管理（単位：%）建設現場	目標・取組年達成率	100%	100%	100%	100%	100%
施工で使用する化学物質の適正管理を徹底します。	化学物質の適正管理（適正管理）建設現場	目標・取組年達成率	100%	100%	100%	100%	100%
		使用量	100%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した情報化施工を推進します。	情報化施工の推進（建設現場）（単位：件）	目標・取組年達成率	-	100%	100%	100%	100%
		使用量	4	4	4	4	4
環境活動の社会貢献を推進します。	美知メセナの美化活動に参加する（単位：回）	目標・取組年達成率	100%	100%	100%	100%	100%
		使用量	10	10	10	10	10

目標の説明や補足事項

- 1 購入電力の調整後排出係数は、2018年関西電力の0.334kg-CO₂/kWhを2021年から2023年の3ヶ年間固定します。
- 2 LPGは、CO₂排出量が23kg-CO₂の為、目標に掲げません。
- 3 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対し、総排出量を把握して リサイクル率に取組めます。
- 4 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する。また、建設現場からの漏水防止監視します。
- 5 施工用塗料の使用があれば、化学物質はSDSで適正に管理します。
- 6 建設現場では、情報化施工及び排ガス規制適合車や低騒音型重機を使用して環境配慮施工を推進します。
- 7 社会貢献活動は美知メセナ活動に参加します。
- 8 2024年の目標は、仮目標です。
- 9 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組めます。

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
事務所での電気使用	電力使用量の削減 (kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃)	総務部
	ガソリン使用量の削減 (単位:L)	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ 環境に配慮した稼働(エコドライブ)	土木部 建築部
	軽油使用量の削減 (単位:L) 建設現場		
	灯油使用量の削減 (単位:L) 建設現場	③ ストープの温度管理 (冬季20℃±1℃)	
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%) 建設現場	廃棄物 ① 建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する ② 雑混雑廃棄物を削減する ③ 無駄な資機材を購入しない	土木部 建築部
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	① 洗車の水使用量を減らす② 水を流しながらの洗い物はしない	総務部
	漏水防止の設置と適正管理 建設現場 (単位:%)	① 漏水発生の監視	土木部 建築部
施工で使用する化学物質の適正管理を徹底します。	化学物質の適正管理 (適正管理) 建設現場	① 使用する塗料等の有害化学物質の使用量を削減し、適正管理する	土木部 建築部
環境に配慮した情報化施工を推進します。	情報化施工の推進 建設現場 (単位:件)	① 情報化施工技術の活用 ② 低排出型重機を使用	土木部 建築部
環境活動の社会貢献を推進します。	美知メセテの美化活動に参加する (単位:回)	① 美知メセテ活動に参加する	総務部

取組の紹介

- 「美知メセテ活動」とは、滋賀県と協定を締結し、近隣の道路等の清掃活動をボランティアで行う活動です。
- フロン排出抑制法に基づく第1種特定製品の空調機器の簡易点検を2015年6月より実施しています。
- 目標には掲げていないが、社会資本の整備に対して、地球環境の保全及び創造に寄与する事を目的に活動しているNPO法人CESAに加入し、土木現場で地域住民とのコミュニケーションの一環として、CESA協力のもと現場見学会を1件実施する事ができました。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○：目標達成 △：基準年値105%以内達成 ×目標未達

環境経営方針	取組項目	年度	取組年 2022年		目標達成評価 ○、△、×	取組の評価	担当責任者		
			(目標)	(実績)					
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減(単位: kWh)	目標・基準年達成率	99%	77.3%	○	不用時の消灯・エアコンの適正管理に努めた。今期は大雪の影響もあり、冬季の暖房使用量が増えた。次年度も、節電に努める。	総務部		
		使用量	112,666	87,932					
		(kg-CO ₂)	37,630	29,369					
	ガソリン使用量の削減(単位:L)	目標・基準年達成率	99%	85.6%	○				
		使用量	28,557	24,682					
	軽油使用量の削減(単位:L)	目標・基準年達成率	99%	177.8%	×			ガソリン使用量では、遠方の現場も多いが、エコドライブに努めた。軽油使用量は、建設現場の増化に伴い建設重機の使用が増え、軽油使用量が増加した。次年度も、エコドライブや重機の効率的な稼働の周知を図る。	土木部 建築部
		使用量	10,346	18,577					
灯油使用量の削減(単位:L)	目標・基準年達成率	99%	41.0%	○					
	使用量	3,628	1,503						
二酸化炭素排出量削減(単位:kg)	目標・基準年達成率	99%	98.1%	○					
	使用量	9,035	3,742						
二酸化炭素排出量削減(単位:kg)	目標・基準年達成率	99%	98.1%	○					
	使用量	139,610	138,303						
二酸化炭素排出量削減(単位:kg)	目標・基準年達成率	98%	94.7%	○					
	使用量	49.7	48.0						
建設現場の廃棄物に対して、分別を両面にて実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進(単位:%)	目標・取組年達成率	95%	102%	○	産業廃棄物は分別を徹底してリサイクルに努めた	土木部 建築部		
		(kg/㎡)	95%	98%					
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所排水の削減(単位:㎡)	目標・基準年達成率	99%	85.7%	○	洗車の水使用量を減らす等節水は遵守できた。次年度も継続して節水に努める。	総務部		
		使用量	221	191					
漏水防止の設備と巡回管理(単位:%)	漏水防止の設備と巡回管理(単位:%)	目標・取組年達成率	-	100%	○	現場での漏水監視をすると共にオイル吸着材を備えた。次年度も監視強化を図る。	土木部 建築部		
		(kg/㎡)	100%	100%					
施工で使用する化学物質の適正管理を徹底します。	化学物質の適正管理(単位:%)	目標・取組年達成率	-	100%	○	使用はなかった。	土木部 建築部		
		(kg/㎡)	100%	100%					
環境に配慮した情報化施工を推進します。	情報化施工の推進(単位:件)	目標・取組年達成率	-	100%	○	建設現場では、低騒音・低振動型重機や排ガス適合車両を使用。次年度も、積極的に推進を図る。	土木部 建築部		
		(kg/㎡)	4	4					
環境運動の社会貢献を推進します。	美知メッセの美化活動に参加(単位:回)	目標・取組年達成率	-	100%	○	計画とおり実施出来た。次年度も継続実施する。	総務部		
		(kg/㎡)	10	10					

次年度の主な取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減に取り組みます。
- 2 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対して分別・再資源化を推進します。
- 3 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減に取り組む。また建設現場からの漏水防止監視します。
- 4 施工用塗料の化学物質は適正に管理します。
- 5 建設現場では低排出型重機を使用や情報化施工技術の活用を図ります。
- 6 社会貢献活動は美知メッセ及び環境美化活動に参加します。
- 7 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組みます。

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反、訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出、適正処理	遵守
建設リサイクル法	建設資材廃棄物の再資源化、特定建設資材を用いた建築物等の解体又は新築工事、	遵守
資源有効利用促進法	パソコン等リサイクルの促進	遵守
大気汚染防止法	一般粉じん発生施設の届出、解体時に石含有建材の事前調査	遵守
水質汚濁防止法	公共用水域への排水、水質事故時の報告	遵守
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
家電リサイクル法	廃家電の適正処理	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車の適正処理	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検と廃棄時のフロン類の引渡し、点検記録の保存、特定解体工事に係る事前確認や書面による説明他	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、排出	

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。

7 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

2022年度の目標に対し、軽油・産業廃棄物については受注工事の増加に伴い数値が悪化したが、その他の項目については目標値の達成が出来た。今後、益々現場での環境に対する取り組みが重要となるため、最適な環境対策を図ることで環境の保全に寄与していくことが重要となる。建設現場においても各個人の環境意識の向上と行動の徹底が課題となる。尚、環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画は、変更しない。

環境経営方針

変更なし

変更あり

環境経営目標・計画

変更なし

変更あり

実施体制他

変更なし

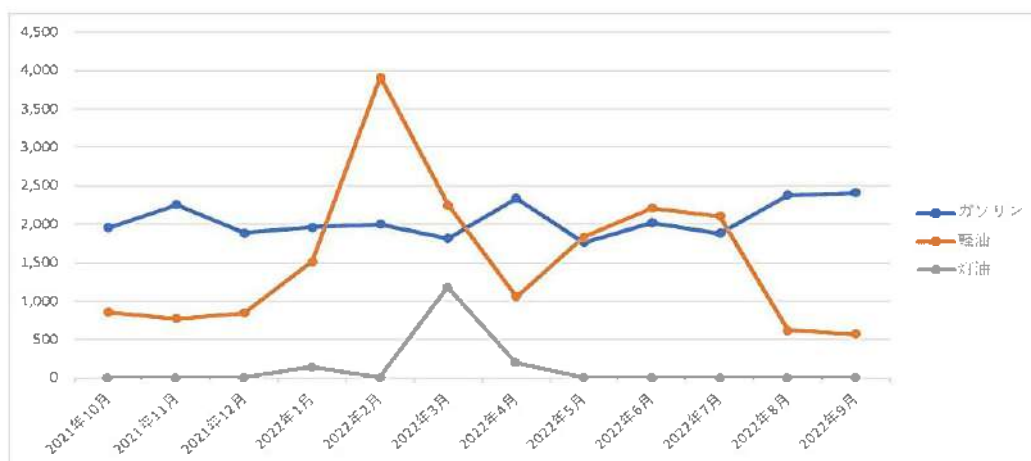
変更あり

8 2022年度 年間推移 (電力、化石燃料、産業廃棄物、一般廃棄物、水道)

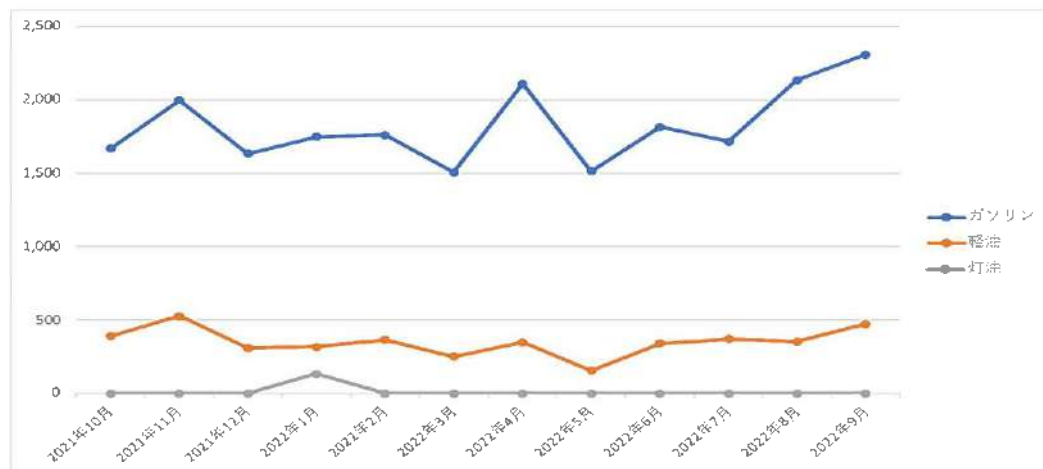
■ 購入電力(kWh)



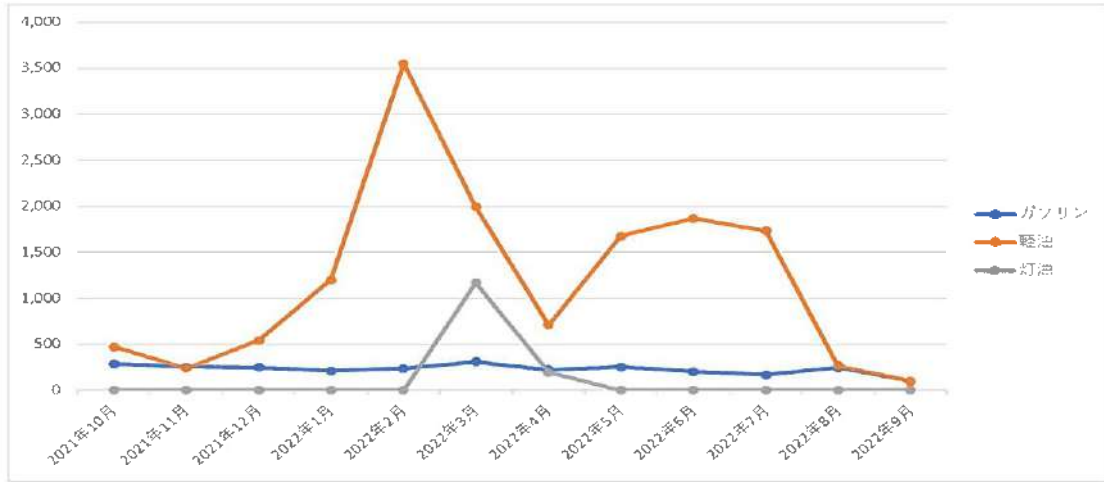
■ 全社の化石燃料(l)



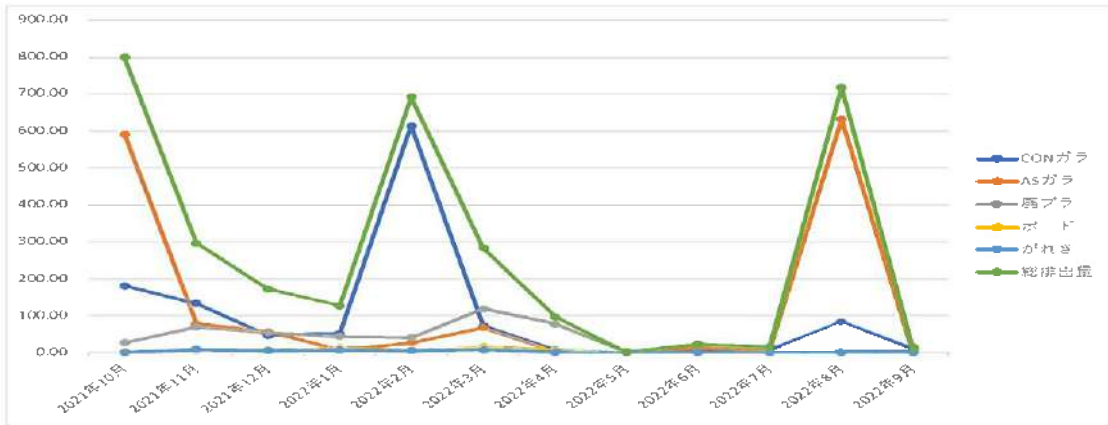
■ 本社の化石燃料(l)



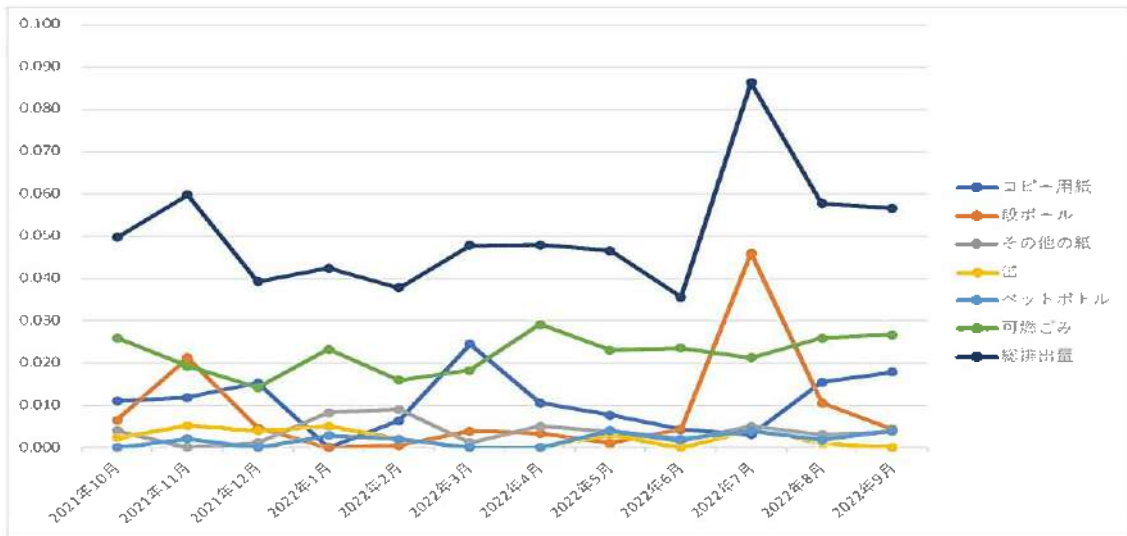
■ 建設現場の化石燃料(L)



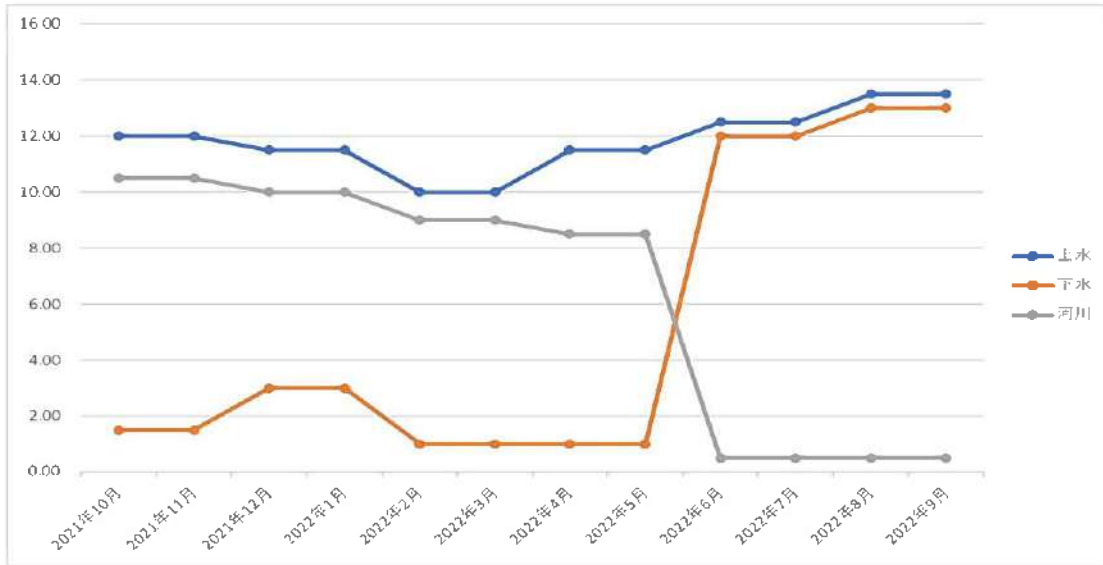
■ 産業廃棄物(L)



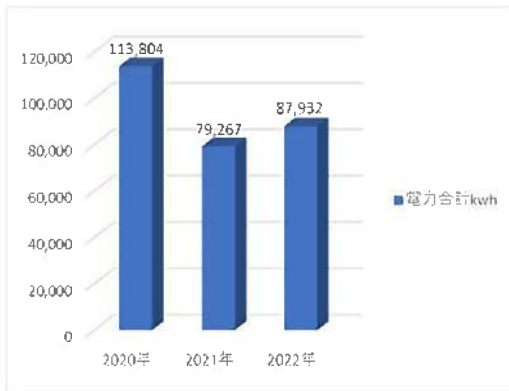
■ 一般廃棄物(kg)



■ 上水道使用量(m³)と排水量(m³)



■ 電力使用量合計3年間推移 (kWh)



■ 二酸化炭素排出量/百万円原単位 (kg-CO₂/百万円)

